

1. 日時：平成29年6月16日（金）第6限 14：05～14：50（45分）
2. 学級：第2学年4組（男子20人、女子20人）
3. 場所：第2学年4組教室
4. 単元名：「近畿地方 ～歴史的背景の視点で～」

5. 単元の目標

近畿地方が発展してきた様子について歴史的背景を中核として資料を活用し、地理的事象を多面的・多角的に考察することができる。

6. 生徒観

1年次に歴史を学習しており、近畿地方が日本の政治の中心地であったという認識を深めている。また、普段の授業の中で、資料を使う調べ学習を取り入れたことで、資料から情報・地域の特色などを読み取ることのできる生徒は増えている。ただ一方で、一つの資料から一つの情報を読み取って満足したり、社会的事象の一面を捉えたりしただけで、その事象の全体像を掴んだと考える状態にとどまっている生徒が多い。そこで、今ある資料活用能力を更に伸ばし、社会的事象を多面的・多角的に捉える力を育てたい。

7. 教材観

本単元で取り扱う近畿地方は、町家や古い寺院・神社が多く残り、歴史的都市も多く存在する。近畿地方は古代から日本の中心地であり、江戸時代から大阪を中心に大都市へと発展し、神戸市も鎖国が終わる明治以降に貿易都市として発展し、阪神間が栄えた。このことから、近畿地方の人口、産業、文化の特徴を捉えるには、歴史的背景を中核として考察するのに適していると考えられる。また、近畿地方は人口密度や土地利用、歴史資料や文化財などが多数存在し、更にそこに住む人々の視点や、訪れる外国人の目線も取り入れることで、地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察できる。このことから、本単元は様々な資料を適正に選択、活用して、地理的事象を多面的・多角的に考察する力を育てるのに適した教材だと考える。

8. 指導観

指導に際しては、まず初めに近畿地方の範囲と各府県の位置、地形や気候といった自然環境を大観させる。そして、近畿地方の土地利用、工業、人口の三つの主題図の特色を適正に読み取らせ、これらの特色が、長い歴史の中で形成されてきたことに気づかせる。次に、近畿地方で人口が集中している関西大都市圏地図の成り立ちを大阪市と神戸市を中心に、グラフ、写真などの資料を活用して、歴史的背景の視点から説明することができるようにする。また、京都市を取り上げ、景観保全の重要性や、伝統文化が現在も受け継がれる背景については外国人観光客やそこに住む人々の視点を入れて考える。最後に、長く受け継がれている伝統工業や、阪神工業地帯の移り変わりを追求する。

単元を通じて、ワークシートや小グループで意見を表明する場を作ったり、意見を全体の場で発表したりする活動を行う。資料を活用しながら、生徒自身の考えだけでなく、周りの意見を聞くことで、地理的事象を多面的・多角的に考察する力を育てたい。

9. 単元の評価基準

A 関心・意欲・態度	B 思考・判断	C 技能・表現	D 知識・理解
近畿地方における地域的特色に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	近畿地方の地域的特色を、歴史的背景を中核として、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	近畿地方に関する地図や写真、グラフなどの資料を活用して、情報を適切に読み取ることができる。	近畿地方における農業や工業の地域的特色を理解し、その知識を身に付けることができる。

10. 指導計画 (全5時間)

時間	学習内容	評価基準
1	近畿地方の自然環境	・近畿地方の府県名や位置・県庁所在地名を理解し、近畿地方の地形や気候の地域的特色を大観している。【D】
2	近畿地方の産業と人口	・近畿地方の人口密度と産業の主題図をそれぞれについて、その特色を適切に読み取っている。【C】
3	関西大都市圏の成り立ち	・関西大都市圏の変化と発展、課題について理解し、歴史的背景の視点から説明している。【B】
4	歴史的都市の街なみと文化 (本時)	・歴史的背景の視点から、現在の近畿地方の街なみや文化の成立の背景及び現在に至る過程を説明している。【B】
5	近畿地方の産業と歴史	・近畿地方の農業・工業の変化に関心を持ち、その歴史的背景を意欲的に追究している。【A】

11. 本時の指導計画

(1) 本時の目標

歴史的都市における景観保全の重要性や、伝統文化が現在に息づく理由を説明することができる。

(2) 本時の評価基準

歴史的背景の視点から、現在の近畿地方の街なみや文化の成立の背景及び現在に至る過程を説明している。

(3) 本時で扱う教材

- ・生徒 教科書
- ・教師 ワークシート、写真、付箋

(4) 本時の展開

過程	学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点	評価基準
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・関西国際空港の写真を見て、空港の名称を答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって身近である関西国際空港の写真を見せて、生徒の興味を引く。 	
展開	<p>外国人が関西に来るのはなぜだろう？</p>		
	<p>① 外国人が近畿地方を訪問する理由を考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・観光するため。 ・ユニバに行くため。 ・京都観光。 </div> <p>② 文化財や世界文化遺産、歴史的都市、街なみについてワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関西国際空港の旅客数の資料を提示する。 ・意見が出やすい雰囲気を作る。 ・近畿地方にはどんな特徴があるのか考えさせる。 ・より多くの生徒から答えを引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が関西国際空港に来る理由を、追究しようとする。【B】(発表)
<p>アリスが京都旅行をして、満足した点とガッカリした点はなんだろう？</p>			
	<p>③ 外国人の京都旅行記の写真を見て、満足した点とがっかりした点を個人で1つずつワークシートに書き出す。</p> <p>④ 班で意見を出し合い、満足した点とがっかりした点を2つずつ決め、代表者が発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真に一言添えて、生徒が考えやすいようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国観光客の視点から、京都の文化や景観を捉えることができたか。【B】(ワークシート・発表) ・他の意見を生かして、意見をまとめることができたか。【B】(作業観察)
<p>歴史的景観と便利さはどちらが重要なのだろうか？</p>			
	<p>⑤ 京都に住む住民と、観光客の外国人の両者の目線になって考えて、発表する。</p> <p>⑥ 街なみ保存や重要伝統的建造物群保存地区、景観政策による、人々の取り組みをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・③④の活動で、歴史的景観の大切さにばかり焦点があたり、現代社会の利便性などの点に考えが及ばなかった場合、コンビニの便利さなどの話題を提示し、生徒の考えをゆさぶる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の意見を生かして、意見をまとめることができたか。【B】(作業観察)

ま と め	⑦どうして規制をかけてまで景観政策をしているのかまとめる。	・景観保全の重要性や、伝統文化が現在に息づく理由を説明することができたか。【B】 (ワークシート)
-------------	-------------------------------	--

1.2. ご高評